

ネイパルで水まみれ

1 事業のねらい

水辺の自然体験活動を通じて、自然にふれる経験や環境に関する理解を深められるようにする。

2 事業の概要

- 期日 R4.8.13(土)~14(日) 1泊2日
- 対象 小学校3~6年生
- 人数 42名(応募69名から抽選) ボランティア9名
- 場所 宿野辺川、大沼

3 プログラム

	10:00	10:15	11:30	13:30	15:30	17:30	18:30	20:30	22:00	
8/13(土)	受付	開会式	活動1【ネイパル森】 仲良くなろう	昼食	活動2【宿野辺川】 沢下りでGO! ※増水のため「水合戦!」に差替 (水玉合戦・水鉄砲バトル・人間ボウリング)	入浴	夕食	活動3【ネイパル森】 「いかだを作ろう」	自由時間	就寝
	7:30	9:00	11:30	12:00	13:00	13:30	13:50	14:00		
8/14(日)	起床	朝食	活動4【大沼】 「いかだでGO!」	入浴	昼食	活動5【ネイパル森】 「いかだ解体」	アンケート	閉会式	解散	

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 水辺で安全に活動するための工夫
 - ・川辺での活動を安全に行うために何度も事前踏査を行い、参加者のニーズに合わせたコースや動線の確認を行った。
 - ・いかだについても事前に職員で作成を行い、実際に浮かべてみながら材料の適正な量を見積もった。
- 参加者に楽しんでもらえるための工夫
 - ・普段なかなかできない川や湖での活動を用意し体験欲求を促した。
 - ・川の増水により沢下りを中止し、急遽ペットボトルなどの身近にあるものを活用して水まみれになる活動を考案し、提供した。
 - ・保護メガネの準備など、安心して活動できるよう配慮した。
- 環境への配慮を促す工夫
 - ・ペットボトルで作成したいかだを最後に解体し、分別した。

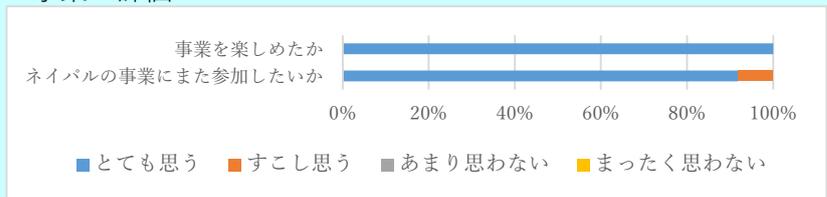


沢下りの代替で実施した人間ボウリング



大沼でのいかだ遊び

5 事業の評価



- 参加者アンケートから
 - ・すごく笑えたし、まだ友達になっていなかった人とも友達になることができた。
 - ・自分はものを作るのがすきで、いかだ作りがとても楽しかった。
- その他、肯定的な評価が多かった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 天候の都合で沢下りを実施することができなかったが、いかだ遊びで水辺での活動を行うことができ、自然に触れる経験ができた。
- 今後受入プログラムとして、沢下りやいかだ遊びを導入する予定である。本事業の振り返りを入念に行い、プログラムの開発にあたる。



企画のポイント

近隣の河川や湖沼という資源を活用して、普段なかなかできない水辺での体験活動を安全に行う。

キャンプを楽しみ、自然の中でゆっくり過ごす

ネイパル森

パパ・ママ キャンパーデビューしませんか？

1 事業のねらい

親や大人がキャンプの基礎知識を学び、自然体験活動に興味・関心を持つことにより、子供の自然体験の機会を確保したり、親子のふれあいを深めたりするきっかけを提供する。

2 事業の概要

- 期日 R4.8.20(土)～21(日) 1泊2日
- 対象 親・一般(家族参加可)
- 人数 16グループ(57名)(応募54グループ128名から抽選)
ボランティア2名
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	13:00 13:30		15:30		18:00		21:00		22:00	
8/20 (土)	受付	開 会 式	活動1【ネイパル森】 「テント設営・炭火起こし」		活動2【ネイパル森】 「バードコールづくり・ キャンプ飯づくり」		夕食 片付け	入 浴	活動3【ネイパル森】 「スウェーデントーチ」 就寝 (テント)	
8/21 (日)	起 床	炭 火 起 こ し	朝 食	活動4【ネイパル森】 「棒パン・燻製づくり」	昼 食	ま と め	閉 会 式	解 散		

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- キャンプを安心して楽しく行える工夫
 - ・定番のカレーや焼肉等ではなく、インド風スープや炊き込みご飯にしたり、スウェーデントーチやバードコールづくりを取入れたことにより、より豊かなキャンプの楽しみ方を提案する内容とした。
 - ・不安な時は宿泊室に泊まれるようにし、子供連れや初心者でも安心して参加できるようにした。
- 気づきを促し興味関心を高める工夫
 - ・キャンプでの火起こしやテント設営などのすべての活動において、職員が実践して得たコツを載せた資料を配付・説明し、インターネット等では得られない「知恵」を伝えることにより、興味関心を高めた。
- 親子の触れ合いを深める工夫
 - ・親子別活動の時間を設定したうえで、職員からの説明を親に行い、その後親子で活動する運営方法により、親子の触れ合いを深めるようにした。



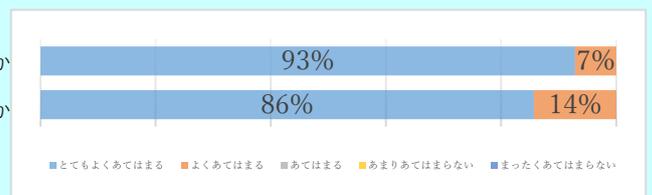
自由にロープワークができるコーナー



子どもが簡単に作れるバードコール

5 事業の評価

ためになったか
今後キャンプをしてみたいか



- 参加者アンケートから
 - ・関係する項目で、参加者の100%が肯定的評価をした。
- 参加者の声
 - ・「今までの火起こしとは違い、火おきの時にうちわで扇ぐ必要がないことを初めて知った。」や「テント設営では、実演しながら説明があったので、安心して組み立てることができた。」など企画の意図に迫る複数の感想が得られた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 安心感が得られることや、既存とは違う情報を得られたことで、キャンプに関する興味関心をより高めることができた。結果、参加した家族の中から、後日、複数のキャンプでの宿泊利用をいただいた。
- 今後、レベルを上げたキャンプ企画を考えるときに、施設の備品やノウハウでは不十分で、民間との連携が必要不可欠となる。今回は大手スポーツ店との連携に挑戦したが、先方の繁忙期で実現しなかった。ただし、好感触を得たため次回以降に生かしていきたい。



企画のポイント

- ・ 「もう一工夫」による、より充実したキャンプの提案
- ・ ネット上では得られない「知恵の伝授」で、新たな気づきの喜びによる、キャンプへの意欲向上

1 事業のねらい

創作活動や火起こし等の野外活動、ニュースポーツ等の体験を通して、生きる力を育む。

2 事業の概要

- 期日 ①R4.6.18(土)～19(日) 1泊2日
②R4.6.25(土)～26(日) 1泊2日
- 対象 小学3年生～6年生
- 人数 ①40名、②39名
- 場所 ネイパル北見

3 プログラム

日程	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1日目					受付 10:00～10:30	開 会 式	遊 び リ ン ビ ック	昼 食	【選択活動Ⅰ】 A【小枝のバードコード 作り】 B【ファイヤー 火を起こそう】	休 憩	【選択活動Ⅱ】 A【野外力検定】 B【作ろう！風の音】		休 憩	夕 食	NEW! ス ポ ー ツ	入 浴 就 寝 準 備	就 寝
2日目	起 床 ・ 洗 面	朝 食	部 屋 清 掃	【選択活動Ⅲ】 A【VS たなちゃん】 B【もの作りをして 遊ぼう】		ふ り か え り	閉 会 式	解 散 予 定 12:00									

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 職員の得意分野を生かしたプログラム
 - ・ 職員の得意分野を取り入れた活動を選択形式で体験することにより、様々な体験活動に積極的に取り組み自己の興味や関心を深めるよう工夫した。
- 生きる力を学ぶプログラム
 - ・ 今まで取り組んだことのない体験活動を取り入れるとともに、活動内容をバランスよく配置し、実際の生活でも役立つ生きる力を幅広く学べるようにした。

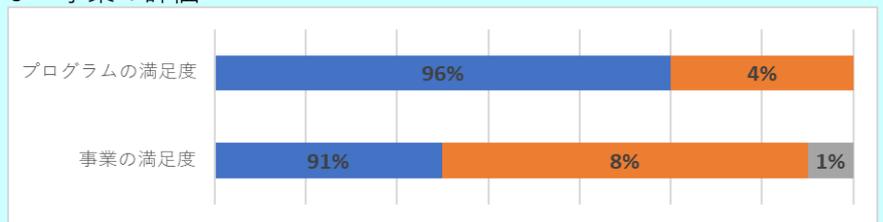


野外力検定のロープワーク様子



VS たなちゃんのユニホック様子

5 事業の評価



- 様々な選択活動を体験して、新しい発見をたくさん見つけることができた。
- 「ファイヤー火を起こそう」で、火の取り扱い方や大切さを学んだ。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「様々な選択活動を体験して、新しい発見をたくさん見つけることができた」などの声から、様々な生きる力を身に着けることができた。
- 全員で取り組んだニュースポーツの時間が短かった。全員で体験し、交流する時間を含め、余裕をもって活動時間を設定する必要がある。



企画のポイント

職員の得意分野を生かした活動を取り入れて、生きる力を育む場面の設定。

ネイパル北見

かえってきたネイパルバグズ

1 事業のねらい

虫の観察や、捕獲の活動を通して、虫や生き物に親しみ、自然や命を大切に育てる。

2 事業の概要

- 期日 R4.7.23(土)～24(日) 1泊2日
- 対象 小学3年生～6年生
- 人数 45名
- 場所 ネイパル北見、施設周辺野外

3 プログラム

日程	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
7/23 1日目	受付 10:00～10:30					開会式 虫仲間の集い	昼食	虫トラップ作りと設置	休憩	虫の家観察	休憩	夕食	ナイト ウォーク	入浴・自由	健康 チェック	就寝		
7/24 2日目	起床・洗面	健康 チェック	朝食	部屋 清掃	移動昆虫館	虫トラップ チェック	閉会 式	【昼食】 オプション 希望者	解散予定 12:00									

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■珍しい虫と直接ふれ合うプログラム

- ・遠軽町の昆虫同好会による協力の下、珍しい虫に直に触れ、持ったり体に乗せたりという体験をすることで、虫や生き物に対して親しみを持ち、興味関心を高めるよう工夫した。

■虫を捕獲するプログラム

- ・同好会の方を講師とし、専門家の虫を捕獲するための知恵と工夫を学びながら、実際に虫を捕獲する中で自然とのふれあいや虫を捕まえる感動を味わい、生き物を慈しむ心を育むように努めた。

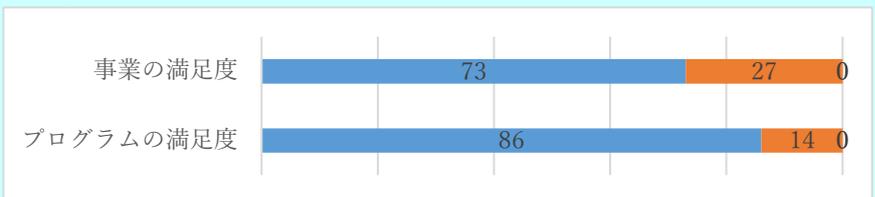


珍しい虫と直接ふれ合うプログラム



移動昆虫館でナナフシとふれ合う

5 事業の評価



- 虫に触れられなかったが、二日間で虫に触れられるようになり感動した。
- トラップにたくさん虫が入っていてうれしかった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「色々な昆虫に触れられてよかった」などの声から、トラップ作りなどを通して虫や生き物に親しむことができた。
- 虫嫌いの子どもの苦手さを克服するために、抵抗感の少ない虫の捕獲方法や虫とふれ合う方法の工夫。



企画のポイント

実際に虫を捕獲し、様々な虫と接する中で虫に親しみ、自然や命を大切に育む場の設定。

ネイパル林間学校

1 事業のねらい

様々なソロ体験活動を通して、自己効力感（できると自分を信じられる力）を養う。

2 事業の概要

- 期日 ①R4.7.27(水)～29(金) 2泊3日
②R4.7.29(金)～31(日) 2泊3日
- 対象 小学3年生～6年生
- 人数 ①20名、②20名
- 場所 ネイパル北見

3 プログラム（同日程を2回に分けて開催）

日時	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1日目						受付	開会式	オリエンテーション	昼食	準備	ロープワーク & 火おこし ソロテント設営			夕食	入浴	ふりかえり	自由時間	就寝	
2日目	起床	早朝 SUP & カヌー		朝食	清掃	【選択活動】 A【仁頃山（829m）登山】 B【世界に1つだけ！○○標本（自転車）】					ソロ炊飯		入浴	ふりかえり	自由時間	就寝			
3日目		起床	ホットサンド & テント撤収		用具返却	バッグタグ【創作体験】		ふりかえり	閉会式	解散									

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■ ソロ体験活動を多く取り入れ、自己効力感を得るプログラム構成
・ソロ活動（テント・火起こし・野外炊飯・SUP・選択活動）をする中で、自分の行動を見つめ、体験学習の循環（ふりかえり）を繰り返すことで、様々な状況下で必要な行動ができる自分の可能性を認知できるよう工夫した。また、一般性セルフ・エフィカシー尺度のデーターを取り、子どもたちの変化も考察した。

■ 21世紀の教育、メタ認知を意識したプログラム
・スキル（知っていることをどう使うか）・知識（個別の知識・技能）・人間性（社会での関り）が垣間見える体験活動を設定することで、社会情動的スキルも学べる工夫をした。



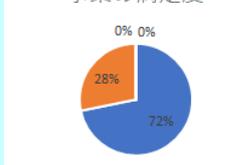
一人でテント設営するソロ体験活動



サロマ湖での SUP & カヌー体験

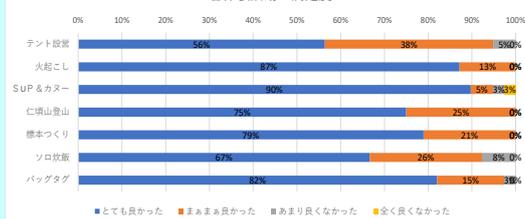
5 事業の評価

事業の満足度



■ 火のつけ方、テントの設営が分かった。野外炊飯を練習したい。山登りは大変だけど、楽しいのが分かった。

各体験活動の満足度



6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 自己効力感のデーターを細かく考察すると、できると思っていた活動が、実際にできないことで、効力感が下がる傾向にあるが、これをふりかえることで、効力感をアップすることが、成果としてあった。
- ソロ活動を実施するため、用具や装備など人数を制限し行ったが、多くの人数でもできる体制と活動の工夫が必要。



企画のポイント

自己効力感を高めるため、社会変化（コロナ下）に対応した体験と安心安全な体験活動としてソロ活動を主に設定した。

釣りキャンプ～紋別編

1 事業のねらい

不便な環境での集団生活や冒険的活動を通して、自己の可能性を知り、他人や自然との関わりの中でたくましく生きていく知恵を身に付ける。

2 事業の概要

- 期日 R4.9.23(金)～24(土) 1泊2日
- 対象 小学3～6年生
- 人数 30名
- 場所 紋別生涯学習センターLiLA、オホーツクタワー
- 協力 伊藤釣具店、紋別海上保安部、ベイトプレス

3 プログラム

	10:30		12:00	13:00	14:00		17:30 18:30		19:30	22:00	
9/23 (金)	受付		集合説明	昼食	釣り講座① 講師：紋別海上保安部		釣り講座②	夕食	釣り準備	入浴等	就寝
	5:00	5:30	10:00		11:00	11:30	12:00				
9/24 (土)	起床	移動	リアル釣り体験 @紋別港		オホーツク タワー 見学	移動	閉会式	解散			

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 自分の力で釣りをするための学習プログラム
 - ・安全に釣りをする方法やマナー、釣り方などを学習する時間を設定することにより、釣り体験の際に自分の力で安全に釣りをすることができるようプログラムを工夫した。
- 地域人材を活用したプログラム
 - ・紋別市で釣具店を営む釣りガイドや流水科学センターの学芸員、紋別海上保安部の方々に協力を要請し、安全に釣りを行う方法や漁港の様子、紋別で釣れる魚の解説などをしてもらい、地域に適した情報を参加者に提供した。

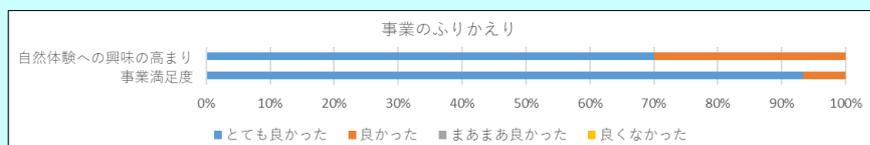


紋別海上保安部の安全指導



紋別漁港で実際に釣りを体験

5 事業の評価



- 参加者アンケートから、「自然体験への興味の高まり」に関する項目で、100%の参加者が肯定的な評価をした。
- 初めて釣りを体験したが、またやってみようと思った。
- 釣りをするには準備をしっかりとすることが大切だと学んだ。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「また釣りをやってみよう」「釣りをする場所はマナーを守って大切に使う」などの声が多かったことから、今回の事業を通して、参加者は自然体験活動への興味が高まった。
- 自然との関わりを考え、自然を大切にするための具体的な取組を話し合う場面等を設定する必要がある。



企画のポイント

体験だけでなく自分の力で釣りをするために地域人材を活用した学習場面の確保。

紙を使った体験活動や創作活動を通して、遊びを極める 遊びマイスター～紙遊び編～

1 事業のねらい

紙を使った様々な遊びを通して、楽しみながら自己の感性を磨き、遊び方を極める。

2 事業の概要

- 期日 ①R4.11.12(土)～13(日) 1泊2日
②R4.11.19(土)～20(日) 1泊2日
- 対象 小学3年生～6年生
- 人数 ①22名、②32名
- 場所 ネイパル北見

3 プログラム

日程	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1日目					受付 10:00～10:30	開 会	紙遊 び	昼食	遊びリンピック ～紙を使って様々な遊びを体験～				部屋 準備	夕食	翌日 準備	入浴・自由	就寝 準備	就寝
2日目	起床・洗面	朝食	部屋 清掃	ミニ秘密基地づくり ～段ボールでミニ秘密基地 を作って遊ぼう!～			昼食	片付け	ふり かえり	授 与・ 閉 会	解散 15:00頃							

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■ 様々な紙を使ったプログラム

- ・コピー用紙や画用紙、折り紙、紙コップや新聞紙といった種類の紙を使い、様々な紙の遊びを体験することを通じて、紙の使い方や遊び方に自己の感性を取り入れる工夫をした。また、ミニ秘密基地作りでは仲間とアイデアを出し合って協力することを学ぶ場を設定した。

■ 遊びを取り入れたプログラム

- ・遊びリンピックでは「すごろく」、「とんとん紙相撲」、「紙飛行機」、「紙コップボーリング」、「新聞紙遊び」といった遊びを準備し、体験することにより、様々な遊び方を知る工夫をした。

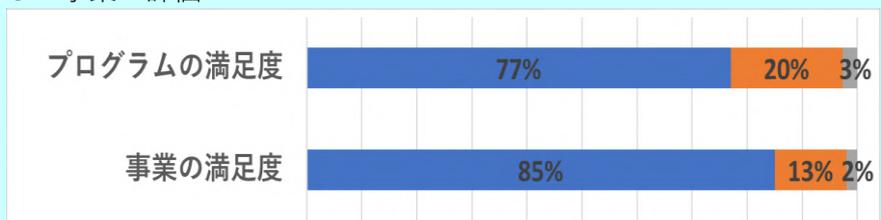


遊びリンピックの紙飛行機の様子



ミニ秘密基地の完成時の様子

5 事業の評価



- 遊びリンピックでいろいろな遊びを体験して、紙を工夫して使ったら、いろいろな方法で遊びができることを知った。
- ミニ秘密基地作りでは、失敗したり難しいこともあったけど、仲間と協力することで、作業が早く終わったり、楽しく作ることができたりして、協力することの大切さを知った。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「いろいろな遊びを体験して、紙を工夫して使ったら、いろいろな方法で遊びができることを知った。」などの声から、自己の感性を磨くができた。
- ふりかえりで、班のメンバー同士で話し合う時間がなく、内容の薄いふりかえりになった。メンバーで協力することの重要性を理解するために、ふりかえり時間の確保が必要。



企画のポイント

紙を使って様々な遊びを体験し、自己の感性を磨くとともに、遊び方を知る場面の設定。

カーリング体験を通して、興味や関心を高める カーリングチャレンジ

1 事業のねらい

カーリングの体験やルール学習を通して、興味や関心を高め、郷土スポーツの理解を深める。

2 事業の概要

- 期日 R5.1.21(土)~22(日) 1泊2日
- 対象 小学4年生~6年生
- 人数 20名
- 場所 ネイパル北見、アドヴィックス常呂カーリングホール
- 協力 北見工業大学カーリング部

3 プログラム

日時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1日目							受付 11:30~12:00 ※常呂町スポーツセンター集合	開 会 式	活 動 準 備	カーリングの練習	バ ス 移 動	休 憩	ル ー ル 学 習	夕 食	ル ー ル 学 習	入 浴 ・ 自 由	就 寝 準 備	就 寝
2日目	起 床 ・ 洗 面	朝 食	部 屋 清 掃	バ ス 移 動	カーリングの試合		閉 会 式	解 散 12:30 ※アドヴィックス常呂カーリングホール解散										

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■専門的なプログラム

- ・北見工業大学カーリング部の指導で、専門的な知識を交えながらカーリングを体験することにより、興味や関心を高めるよう工夫した。

■国内最大の競技場数を備えた専用屋内施設で体験

- ・数多くのオリンピック選手やトップカーラーを輩出している施設で体験することにより、郷土スポーツの理解を深められるよう工夫した。

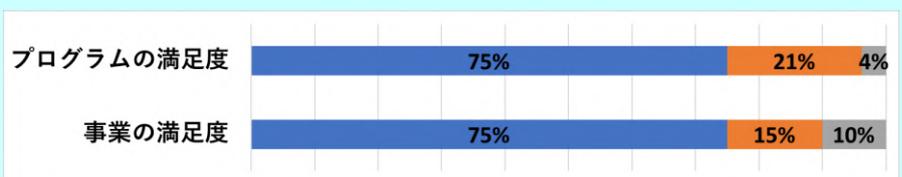


カーリングの練習の様子



ルール学習の様子

5 事業の評価



- カーリングは技術も大切だけど、頭で考えることも大切だと知った。
- カーリングのルールや滑り方、ストーンの投げ方にフォームなどを教えてもらえて、カーリングの良さなどに気づけた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「カーリングは技術も大切だけど、頭で考えることも大切だと知った」などの声から、カーリングの奥深さに気づき、興味や関心を高めることができた。
- ルール学習の時間の説明で、郷土スポーツへの理解をより深めるために、カーリングの歴史などを交えて実施する必要がある。



企画のポイント

カーリングの練習や試合、ルール学習を通して、興味や関心を高める場面の設定。

ネイパル雪遊び

1 事業のねらい

仲間と協力して雪遊びを体験することで、遊びの楽しさを分かち合い協調性を育む。また地域のイベントに参加することで地域の活性化を図る。

2 事業の概要

- 期日 R5.2.4(土)～5(日) 1泊2日
- 対象 小学3年生～6年生
- 人数 38名
- 場所 ネイパル北見、北見市常呂スポーツセンター、多目的研修センター

3 プログラム

日時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1日目					受付 10:00～10:30	開会式	カーリング グドッジ	昼食		雪遊び ～雪中鬼ごっこ・雪だるま作り・ スノーキャンドル作り～		休憩 部屋準備	夕食	点灯式	入浴・自由	就寝 準備	就寝
2日目	起床・洗面		朝食	部屋 清掃	ネイパル雪んこまつり ～ネイパルでミニ祭り～	閉会式	解散 12:00頃 ※ネイパル北見										

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 遊びの要素を取り入れたプログラム
 - ・新しい仲間と協力して雪を活用した、雪中鬼ごっこや雪だるま作り、スノーキャンドル作りをすることにより、遊びの楽しさを分かち合い協調性を育む工夫をした。
- 地域のイベントに参加するプログラム
 - ・ところ雪んこまつりに参加することにより、地域のイベントに対する理解を深め、地域の活性化を図る工夫をした。
 - ※雪不足のため、ネイパル雪んこまつりに変更して実施した。

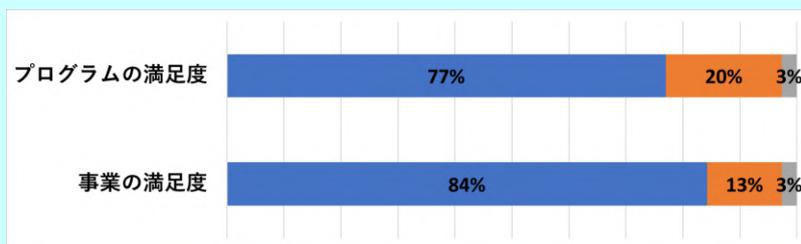


雪遊びの様子



雪遊びの様子

5 事業の評価



- 普段は、いろいろな人と協力して、助け合う機会はありませんから、良い体験になった。
- ネイパル雪んこまつりのクイズ企画で、いろいろと勉強になった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「いろいろな人と協力して、助け合う機会はありませんから、良い体験になった。」などの声から、遊びの楽しさを分かち合い、協調性を育むことができた。
- 2日目に予定していた地域のイベントが雪不足の関係で中止となったため、地域のイベントに参加して地域の活性化を図ることができなかった。



企画のポイント

仲間一緒に雪遊びをして、遊びの楽しさを分かち合い、協調性を育む場面の設定。

ネパール北見

Jr 宿泊体験～ひとりでできるもん～

1 事業のねらい

初めての体験をひとつひとつ克服していく中で自己肯定感を高め、積極的に物事に取り組むことができる自信を育む。

2 事業の概要

- 期日 R5.3.11(土)～12(日) 1泊2日
- 対象 小学1年生～2年生
- 人数 42名
- 場所 ネパール北見

3 プログラム

1日目 3/11(土)	12:30～13:00	13:00～13:30	13:30～14:45		15:00～15:30	15:30～16:30		16:45～17:45		18:00～19:00	19:00～20:00	20:00～20:30	20:30～
	うけつけ	かいかいしき	ともだちできるもん!!	きゆうけい	おはなしちゃんときけるもん!!	おふとんひとりできるもん!!	きゆうけい	なかよくネパールたんけんできるもん!!	じゆんび	よるごはん	ひとりでおふろはいるもん!!	今日のふりかえり	すいみん
2日目 3/12(日)	～6:30	6:30～7:30	7:30～8:30		8:30～9:30		9:30～11:00						11:00～11:30
	はやおきできるもん!!	ひとりでおかたづけできるもん!!	あさごはん		へやてんけんごうかくできるもん!!		おもいでパッチつくるもん!! ※天気によかったらお散歩						へいかいしき

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 初めての体験に自信をもって取り組める活動支援
 - ・取り組む活動に不安を抱かせないために、ボランティアの数を増やし、一人一人に目が行き届くような環境を設定した。成功体験で自信をもたせるために、事前学習道具を使って練習をした上で活動させるように工夫した。
- 楽しい仲間づくりの場の提供
 - ・緊張感をほぐすために、集団遊びなどを通してふれあいの場を最初に設定した。仲間とともに、協力したり相談したりしながら、楽しく活動できる場面を多く設定した。

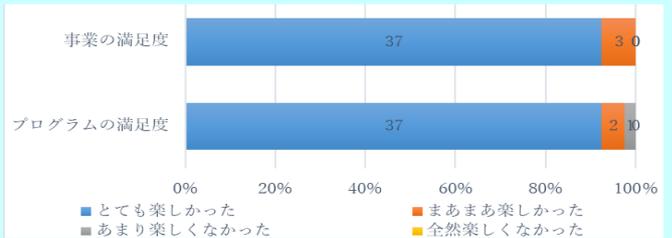


思い出の缶バッジをつくる



チームで館内探検の謎解き中

5 事業の評価



参加者アンケートから

- お友達じゃない子とお友達になれてよかった。
- ねるのがワクワクだった。
- みんな優しくかったし、ボランティアの人も優しくしてくれてうれしかった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは「ふとんのひきかたがわかった」など、自信をもって活動に取り組めた記入が多くあり、成功体験によって自己肯定感を高められた様子がみられた。
- 集中力が長く続かない児童もいるので、活動内容をよりわかりやすく短く設定する必要がある。



企画のポイント

初めての活動での成功体験をもとに、自己肯定感を高め、積極性を育む場の設定。